

第十八回

深掘り!

学芸部

教育室

(ミュージアム・

カートや

文化財

ソムリエなど)



京博の展示室に行く



展示中の作品について解説された印刷物が置いてある

いつも展示作品のことがコンパクトにわかりやすく解説されている



こういったガイドを編集発行しているのが学芸部教育室



室長の「永島明子です 漆工も担当してます
これから展示科目作業なので失礼します」

主任研究員の 水谷亜希です

事務 補作員の 河合優香です

同じく 湯本美紀です

よろしくー



教育室ではガイドの発行の他にも

講座を企画したり

ジュニア版音声ガイドを作ったり

入門的な特集展示をしたり...

入門的な

展示というの？





文化財に興味を
持つてもらえるような
子どもから大人まで
楽しめる
企画で

例えば
70年には
「京博すいごくかん」
という

美術品の中に
表された水中のいきもの
を集めた展示も
行いました

えー
おもしろ
そう!



京都
水族館
との連携
だったので
収蔵品に
描かれる
魚を見て

あ
これは
コイ科の
カントウボウ
こちらがカワヒラニれは
ケツギヨみんな日本には
いなかった魚で中国に
生息していますね

と次々に魚の種類を
教えて下さいました



それから今はコロナで
休止中なんですが

京博
ナビゲーター
というボランティア
さんを募って
活動もしてきました

ほう



わーそれはきっと
両館にとって
刺激的
でしたね

は
は
は
す
す
す
ぐ
く
勉
強
に
な
り
ま
し
た



数年前何かの展示を
見に行った時2階が
3階で

どうぞー
参加
して
いて
下
さ
い
ね

何
や
る
?



ワークショップやミュージアム
カートという体験コーナ
を京博ナビゲーターさん
が担当してました
主に2階と3階の
エレベーター前で

あ
私
それ
参
加
し
た
こ
と
あ
り
ま
す



こうした教材を前に京博ナビゲーターが来館者と交流して展示を



楽しめためのきっかけを伝えるのがミュージアムカードという活動です

ちなみにこれは文化財保存修理所の美術院さんが作られたんですよ



おおあの仏像修理のーあーちや本格的な教材ですね

なるほどー私もこれに
参加したあと仏像を見た
時思わず眼に注目しました
知識
ふんた

他にもいろんな教材が
あつて文化財の構造を
知ってもらったり

ホンマに見て作ってるんや!

薄く加工

鏡の複製

古墳時代の鏡の複製

ピカピカ鏡

ちゅんとつとつる!

水銀!!

体に悪いものもあるの
絵具のフタは取れないようにしてある

藍銅鉛 (硫化水銀)

孔雀石

炭砂

絵具の原料

イ粉

漆工の螺貝

夜光貝

あわび

これらを

三塗

五螺

でん

の材料

の鏡の複製

の裏が

そして実際に体験してもらったり

「池大雅」展の時は指頭画(指で絵を描く)体験

ああー新鮮!

私にも参加したー

これのかわりに墨のかわりに水をつけて描いた

特殊な紙

国宝

いっぺんじりえ

一遍聖絵と時宗の名宝展の時

絵巻物の複製表を手に取って鑑賞

絵巻物

見ろんだ

京博ナビゲーターさんってどんな方がされてるのですか?







